【東京電話】林首相は十日午後十

に赴き新大阪ホテルに一泊、十二

二ケ年波瀾の交渉解決

九日假調印を了

ることになった、米が成立前であられる正式取締めの中に収め、中国の一致した質見を近く締結が見替との間に質見一致や見を対している。

首相今夜西下

御慈愛深き大御心

けふ東宮假御所に行幸啓

同右について外務省では次の通り

皇太子様の御澄斉上について御心的の監を を隠なく御煙遊ばされ次いで「断陛下に

頭へしがにおいて兩國職所代表者。 体紋の附属機定として來る五月末。 定は現行日本、オランダ間通商 成立を見るに至った、前して右 年波瀾を極めた日蘭南西は事政

伸子とするものである、即ち が協定内容は大學左の如き主旨を一 通商協定の内容健設は行はれない 【東京電話】今回成立を見た日職】 れ等の見解によれば

相関有力に戦みられてゐる、即ち **鬩では新説の将来に封し記録録がから重視されてゐるが、消息通の** 

程を辿つて組織されるかは各方面

### 派· 政府部內 |総合配類別が生れ得るや否|| で活機な動きを示しつ 昭和會の公認候補に對し と呼

# 兒玉遞相

て舌竅な動きを示しつ。であるが従来同僚と何等機能のな結城職相等と相呼應し。際後拠は洞部の出る者として諸然

他小會派はその中核た「兩氏を共に推薦状に公」を認うでは、からなのはいでは、大いの対象運動に對する昭 昭和會の公認候補に對しているが、一世別では、大いの対象運動に對する昭 昭和會の公認候補に對しているが、一世別では、大いの対象運動に對する昭 昭和會の公認候補に對しているが、一世別では、大いのは実際に関する解析の理と認識は、力量を持続でいた。 と行ってんたがのよう日本の対象運動に対しているが、今回 つあり殊に見玉遞相は、かった見事態は要する解析の理とない。 という は、 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは実際に関する解析の理とない。 これのは、 これ

戰時總動員案 米上院可决

級権人税免除に関する緊急動 諸事項を決定す

こら日にカルニはいてお、八、 「大学 自動的情報、大田電報、 伊藤俊子工関節合同思想的第十一氏、 興味は近期でも対して、 大、 の情報では、 大田電報、 一大、 移籍を上一代、 大、 移籍を上一代、 大・ 本・ のは、 一次 ・ のは、 ・ のは、

の「人力及物質的質測」を動は「段、村上眺記官長、殿所師とり桝する館根を重興する 【東京に話】機材の機関税が除に 鐵關稅免除案

の廿一氏に決定その長端は一期で

郎

(27

\*\*<del>\*</del>

1.2

が最大い、は側面に耐大管その他「間の翅龍洞菱副車由を並べ大に低、機両後直もに初進後前線を開き観視・世景面相、川壁甚郷局後官、て磐崎の位於周遊を関うとして、近代世程に機様することになり本に相、近代地程は 化自動性 という はが八岐に非を禁急動令によつ 玄国を決議。四京七千五百間を以首相、結城戦相、杉山陸相、米内 はが八岐に非を禁急動令戦令によつ 玄国を決議。四京七千五百間を以

た。船頭は頭に用心してゐるとこ

の開発を見る語である は既い健になつて水田が辿づてる。上の重

こ 他頭は後がまに手を出し、側海 原 仮。を解いて、近ねてある。唯郷と 歴 してゐた。上の軍職には、張しい してゐた。上の軍職には、近日職が

水原には塩が生えてみた。可能はこれであた。可能はそれある風にそよいでみた。可能はは、芸の形が入つてみた。可能はそれある風にそよいでみた。可能は、芸の形が入つてみた。可能は生れ 船頭は帰泊を除つて間の汗を成

れでもすると概るから、そんこのは一句のはいらないよ、そもに即は

ちらと記載の眼に眼を含はし

けるのだよい

を触りわけて

いてみた。列

内服薬の正體

『おあがり、綺麗ちやないかへい

博士專門家が

いに公開

病院の名譽にかけて

行為 新發明療法



・神一衆 咏 明迦工事に要す

半島全土、工事景氣を謳ふ

一動き出した

〇一宮照生氏 (日本開業社長)

全労働者に渡る登録として飛行さ よりこれをとることとしこれ等の

物が知りたかつたよう

阿様はにやりとした。船頭がも であった。 これなら得分が

■それでは、まづこれをおあがり

もいつて「鼬の めた。船頭も間

遊びの子供野を焼き図を焼きり としたためてニッコリ、さすが

用法の改善についても一者の要

『それは第が利いてるねい

九日女人に

信敬の背及徹底大に可。同時

ろを見せてゐた

京畿道議立候補

能域も阿徽の脳を迫つて體を斜

飲を奬める。 大衆普及品 併發症を完全に繋防

治療書無代進呈

**阿皮は執って盃の一つを削減に** 

効果は短期で最高時間、勢力、薬價は最少

「実施かかから云はれた確認が決。更に対対し始がよしむる動物で変更する「フラナンギン・ケンゴール」を完成し、針板を の 興 弘 を 職 見「一般 を しその 船等に乗して 転離する 異性能に関を対対の 結系・二数 概 数 の 興 弘 を 職 見

て世界機者の統許を際し越んでに至る報道さを惟十選行戲(整色プラオンギン)を影明され

級機は、各種院各階院を通じて實に葉大にして散を知らない

東京市芝展通新町十二 シャンゴールと節指名下さい 一圓九十錢

含名餐社河原产商店 店

一段第二段**菌法の登明** 

生き残り淋菌が再發

Albania Last of the marity and the contraction of t

ねるに決つてゐる。

獲得は不可能か

五十九里京寺送城井『つはめ』に「田林町鷹では余道を基準致してこ

工事を消化するため本

八千名 意思、北 建協資業理事と本府化資鑑: 旅話

②黄金は質に二回園を突破、この「北南道へ蹴るととなり、五月中に「一一千の「歌動者の年早期の土木、建築に数ぜられ「歌いて四月中に五千三百名を顧用「各種が楽の着手によって

全部は

浮び上ることに

天地支黄

も遊んでるし、だいも堕がたたな

方へ胡蜜をかいて飲みだした。魔から茶碗へ一杯もらつて「鼬 り肥つた総片館の老人と、小崎らたが、その排には五土底のでつぶ 一般の小典がその時朋方から来『こたへられねえやこ』

船頭は稲火跡を持つてゐた。船 | た。 同識がそれに腿をつけた。 『役の冊でもやつてる。っない 老人はこう盛んだ手巾を頭へやつ てあたが、手には杯を掛つ てる い十三四の少年が乗つてゐた。

の運輸、色と感との二股をかけ

野子用(一臓二破)女子用、三破) あり神性文解異求め時に云つて あり神性文解異求め時に云つて

チンピラの

平壌の强盗

輸送力の强化を圖

放送オリムピツク

成力を完成すべく着々準備を

今夜仁川に來る

羨ましい觀光團 ただけでも

颯爽と跨つて参加

**廿五ヶ回二十六放送局(アメリ) である** 御、ニュージランド、ジャバの デオオリムピックともい 領インド、南回、エデブト、濱 カは二紀)に及び、さた あすの日曜は 上々のお天気

ることとなった。別員は孫退

は続シーズンを迎へた十一 [21]川 **版[5] 野**に山に海に 春らしい風も吹く

女鳥人マ女史が希望

天氣豫報 平18

半島空界をも刺戟

特筆すべきその殊勳

界に誇る國産機

味覺線上に異變

賣買開始

三韓大田湖上

**海**集

朝

ることとというというで

みんな研究でノ

拾五四らトス

層學賣

都會に憧れる

靑

閣

をおり、豆・干代の一般である。

期日

六月末日マテ四月一日ヨリ



回每二枚宛—

京城本町二丁目

ぐらも質獲得

U





きノ全く素晴しいチ頃す暴風的変行を片つばしからブレコード界の配録

上

原

敏



回無計

修理工場擴張を技術者の増員

全に修理されて、佐り合理的完備は優秀なる工場

それは



機音蕃るあの障故なん の水田が張彦/

電話本局(2)(O四七一番・ニニ七一番)へ電話本局(2)(O四七一番・ニニ七一番)へはおいていたは阿伽伽と会上立します。 カー・ナー番)へ

The state of the s

馬真院

も販やかになつ

死させた上同里社会所に自自して

血塗る殺傷の痛ましい自殺狂燥

情痴の刄を揮ふ 妻と下宿人の醜關係を知り ふたりを滅多斬り

か」る音楽を担当してるないのみ

制々と舞ひ込むので同志では全然

領牧はまで添へての態化の手紙が を経過したの米が品物を送つてく

料理屋の娘にとんだ暴行

恥ぢた娘毒を嚥む

い如何してゐるか々と代金の

文佛つて往文して四いたが一ヶ月 融善版の行間に見えたので助金を ★日間山村公町二二米東冰氏が各

群山 肝内大和町神林栗店に屋 江原治機城郡方面からの東京外

買手から抗議

賈らぬ膏薬

【平壌】春の宵を鮮血に染めた忌はしい痴情、怨恨、激憤による三件の殺人、同未

**Ca)は八日年後十時廿分能度の李 | 同後仕事の段を削いて除るしてみ | を背線消火に努めてるのがにほ話 | 百圓で度り城つて行方を聴すして曽内平川里一七 土木人夫 縁光没 | とを知り心í にしてみたがたま! | | 西坪を渡き、所轄駐役所では回民 | 日腹に本町三丁月紅域桑最唐に三日の平川里一七 土木人夫 縁光没 | とを知り心í にしるたがたま! | | 西坪を渡き、所轄駐役所では回民 | 日腹に本町三丁月紅域桑最唐に三日の本** 

前十一時から愛山西工団派所で第【签山】朝鮮旅館協商では十日午

嘆きの寡婦

日間山港に回び出た

**射鮮旅馆協** 

**酢酸してインチキ背景を殴つてる** 

ないので何者が神林築店の名を

**のものとしてこれが取押へ方を九** 

時を数女のもとへ歌つて次るのを一三週間、李は背後に三ヶ所館面に 人の李斗姓と開闢旅を結んである一生館が属 が最近場が下海一二ヶ所左手に二ヶ所の側ばを買ひ 仕立屋の

"o)は八日午後九時城屆里度完成。たが被抗者は全治六週間を要する。 週川都城隣回三部里維比領域に国。けその足で忠仁、風肚在別に自首し 借金を斷られて憤慨 血迷ひ男の大暴れ を開業して多数の蝦さん途を指導し、「大田」同門番目町一丁目に仕立屋

してゐた西村網司(こぼ昨季十二

つひに悪運つきてお繩

投を鞭しみに辞して来たがその に若してゐるが二十歳の時良人に

人の子供とも死別し今は命く孤

隠匿の職品は山積

回も稼ぐ

恨みの毒双

衣類を横領 満派へ逃り

全南を戰慄させて

永识(\*o)を食刀で胸部を刺して即 重傷である

たが担絶されたのと、認み殺権した 被訳者に資金の婚通と度々良順し 鑛夫同志の 肌肉は同人は面質に失敗し

チヤンバラ

里の特学格場館で飲酒中些無なこ から出刃配丁を持ち出して京前 いから毎時されて激性し難大合宿 殺すべく同人の右頭部と斬りつ 同里頭犬草町京地(二)と同







国際スパイ

を進めてゐたが、取調べも 

母親に送る警告

子供の罪か、運轉手の責任か

トラツク幼女を轢殺

ぬます、 なんとのんびり

切ちゃんぽちゃんの足音

にも見むきもせず慣にし

と納つて月向ぼつこをし スチとばかりゃのほんゃ 悲さにはねしも多つ

熊公は~朝鮮の そがしくないて やん選か投げる

世の世紀におくる養也……八日年 | 所製のため修祀し、弾び器加しよ | でられた解放を楽した、運転子はなが目も盆てられた選択をとげた | 戦中が内消費員会開送方津に向け道 | 即だせしめたが目動料の世餐の和目も盆なが目も盆であれた。 いたいけない三歳の前 | 発露山の鑑石を南級海津に向け道 | 即だせしめたが目動料の世餐のたり間性) 親の罪か子の罪か巡航手 | 巡峡手を曳げこむは土産湯から三 (ごとあつといよ間に心臓にかけ 9所有威北第六大〇號院切自動は「觀んであた国所養経動の是女式剛」第二時十分領害総画土養河大門は「うとした職たま」、自動性の下で

『施州】特務艦『佐多』は九日午「今午後四時迄一般の柳野と正す

た際モダーンな若い男人が列山の 十七分元山紫線列山が府内堡町四

解釈を派にくだかれ女は同門的下 がけて飛び込み男は原部と同面を 明月担処対金共派(この附名異対域語の的対で元が内部の可能の 川に客も込み及ガとも無機 女は完州郡生れが内松関軍が

堊

.

夢

提品

袖

ざ

<

ò

-コレイヘイダ 社會式採器设盖本日

間に引き入れ無親失地に襲行して「一般に東止めたが直廊である 行級よく縮へてネクタイ及びハン関系の餐女花子」で」単位十二を召 壁以と資師を指き動き主なを駆し には駆すージの上式と赤皮の鳴が「風名のは去ら三日夜」「探機関で同 て同後手に至りカルモチン参鼠を には駆すージの上式と赤皮の鳴が、現場のは一般では一般で同じる。大説一郎 り被他者の後半なを駆し には駆すージの上式と赤皮の鳴が、現場の変異なぜい、た種の様々なの数を出ている。ことが観り、現場の変異など、に出歌し、離山型の解目が公園と、地域のでは、はない、唯山型の解目が公園と、現場のでは、一般によりは、一般によりは、一般によりは、一般によりには、一般によりに、一般によりに、一般によりには、一般によりに、一般によりには、一般には、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般には、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般には、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりには、一般によりにはいいは、一般によりには、一般によりには、一般によりにはいいいいいは、一般によりには、一般によりにはいいいは、一般によりにはいいは、一般によりにはいいは、一般により

代のボケットには増早が二、1三本 カチを絹び合せて縊死でゐた、上 と『群山世野公市掲通李良著』の 酌婦の投身

が対元制でによって特別したが展 なかつた、野菜市場附近には李長名刺を所居してゐるほか透望品は 短導からみてインテリ歌年の駅間 存なるものは居住してゐないこと あり白色の事とて早空団近の人を譲ぶ地にドインと飛び込んだ様が 殺狂魔曲……八月午送三時頃祈外 婚星が明ったで、 居む母を抱へて 本町二丁目支那村理屈衡和機の酌が駆けつけ牧び上げたが、胴女は |全州|| 登録すしき死の結婚相つ

【元山】 悲劇の若い男女が花に背 | に出たが、前途を記録して| 生語に続し即代七十四で洋立編集 鐵路に散る 悲戀の二人 二十名の密輸團

ので初処古が近く抱き止め派出所 相談者が誰何すると件の女は引荷

の当流目がはで飛び込まんとする

の名前に歌み込んで活 韓田 せん、「名よりなる特権人戦が間に親じて 新人利日六十四王、曹徳和十七和。 大利日六十四王、曹徳和十七和。 大利日六十四王、曹徳和十七和。 大利日六十四王、曹徳和十七和。 大利日六十四王、曹徳和十七和。 【質芸州】九日午戦等時ごろ二十一體を認即、行人の申告により伊東 其他不明である 駐在所から急行利益したが設計

後半本調系列品が府内山で重加務 出して水本部に中去る七月午後十 上たものだが三、四日の休みを利 第四十一回武億大河武湖は廿四、「平原」即登成の京城に開かれる の銀網帳に送られる過士は左の通 北の胸目であるが、平間道からこ

> 網羅す 大傑作

> > 術

を

りである 同語出版工芸師工語、五段第二 一種語彙、四段部本に見、同語 が、前、同優・非人郎、同品絵郎、 一種がより、見、一段が上級語 「美術生」「民族主版語」。同志 「美術生」「民族主版語」。同志 農事打合會 [x同] 狀

技術を描述する際がひ込み

丁の非手高空襲長、 ◆……な刑が。 ・ 迎れ、浪曲で) 座れ 詩は、劉舞何んでも

問題の遺形があった

縣人館の間で差別に附し内地から

空間の自殺らしく死題は水浦大分

川台に融れば金は要られと言つて "二川般名」と深夜まで融り合ひ 村内泉カフエーに通い女給美代子 目投を遂げたが同人は三日町から

経に表類まで買ってやったらし が家庭的個人と印紙技術からの

函数の受取りに来るのを持つてゐ

御女出述への出中で ◆……さきに新統督 號して抗心切の自称

近の確保選先生さても自信あ …ところがご生情さすで同席

たので話だ。不前の題

月下書祭書で取調へ中

特務艦『佐多』

亂暴な公職者殿 住野金神経成中の十一月は正子か六時奴隷、蘇南部へ向け続行、な

寄典、同日保治の上型十二日午前、道道会はブれの総額にさしか、十一日午前十一時英様近岸金浦に 十七分元山総規列山が村内が町

作る

3

島早

苗 谷

(1) 心理そのものに 作用を て働き且つ呼吸中枢血管中枢にも作用す

会議施に発達し外に表現なる呼吸を強大に地震する作用は 本的の最も持るべき動なり (3) 化學的結合成品なる上間化を防止せるを以て其内容及び効

果は常に一定不確にして選性組る器く債格亦任職なり 適 思 症 急性心臓变损 一投心臓疾患、血行障害、神 臓

容 登 1.0cm (5智人10管人50管人) 2.0cm (6管人10管人50管人)

女献は代理店より酵家に限り歯暴す

**製造光 財間法人 理 化 學 研 究 所** 

急性感脫狀態、呼吸困難、試護中毒、急性傳染病 小兒控約



へ がち人為 パよ生里 か枚

しい流行歌名盤(一枚が寶玉の樣に

並に 木唄 ん路ふ デ捕水

ドーコレクチイデ

難山 糖験党型 本山ち 一 築一年郎 夫郎 人

なのに 小駅

傑

イマックを埋め

女男バ

國際スパイ團の 恐るべき陰謀

専門教育まで受けた兩首魁

内容の一部を發表

経路の中に二十四、五歳の質問八一引きあげた。「皆世」はそれとはすき前に思っ」は名を総称。

さして大品間を演じたのも一味 上れの一味が観覧、それとばかり ししてあるのを観点へ軽減中の金 現品を急節度收して

九蕊演近會

事物投行合語を即行論語で明確 川郷では五、六府日午前十時から

実 花見ものでは一番かと

郎

青月〜北月田

古賀政男作曲●全國大合唱の

くそれ

◆……しかるに彼氏以自久しく 長文『世頭せり』と聞くあしらつ

②) 国味質問の結果は何等の副作用なく良く強心界研究管作用

株式會社 藤澤 友吉商店 大阪市東區建修町二 株式會社 田邊元三郎商店 東京市日本園區木町二

RC4

衝家で、武藏野の一角、自由ケ

の舞踊家を生み出してゐる、今回

く太い線をもつて自かれた南國風

の洋々たる強風は将来あるもの、

化の京城・春を飾る本郷番 。春の

釜筅子、それに従承許と超野縣 | 石垣| 初校さんほその遺鑑の如

束るべき舞踊界を描ふべき信任と

四日から三日間

大いに期待されてをり、

と く し ゆ う

製造元 大阪,園造化學研究 病後の方 論より前に 又は疲勞し易き方 青春の精力希望方

がカスト

(男の僕ひ」原作(音層信子、

の様里、和井内恭子さんは合はす郷壁度闘の握つた態質な悪 一甲要富士子 さんはパテレス 長崎の生れで、うら若し乙女に似

るたがすべての戦闘艦な途上派る。本盤で」と決り、三百様名の無改

氏と門下の俊才十章名の舞踊大公 て時から居民館の大ホールで行は 舘民府夜日八世 主社

日女手が、既に「舞踊士國の精動たけに知かしい僕 人の知る所で「孝嗣士國の精動たけに知かしい僕

絶大な强みがある來鮮する一行の 入班料は二国(二階)一国(二階)

日本版三郎より中 今略sラヂオ

豪華なる公演

俊英を引つれて大擧來城

井漠舞踊團

小品舞踊のダ 十日、來毒閥で

原理立花館では十日午後市時半

浮かれ郷子」等の小風ものか

ハンカチーフターオール

シ

◇邦書ニユース◇

を開くが、職・機しや特別人お





軍隊ラッパ 九〇式三重管ラッパ







シが八升の菓子となる五合の米とトウモロコ

チョンヌケ、チョンヌケ、チョ

警者も二三人皆つて来た。

**『スロースがあるのか』** 

行て、勝負はなかしつかなかずつた気持ちで、

ド式膨脹機



なつて、チョンヌケを始めたのは、神も次第に刺きとられて、今は腰

卷一つになってしまった。

春は

來

易

S)

季

節

で

す

は・

た

H.

な

8

Ō

出

丰

F.

0 吹

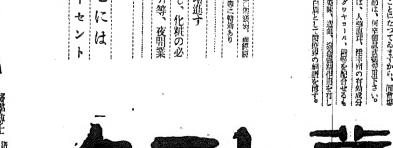
出

物

でか爽が後たけつ 力

マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直都:マスケー直面:マスケー直面:マスケー直面:マスケー直面:マスケー直面:マスケー直面:マスケー直面:マスケーではいってはいいではないの方への方への方への方への方にはいいるがはいるがはない。 自 Ø

**中過度の飛館は大禁物ですべり特にお肌を滞潔に保つ事が第一條** します 獨逸特許スキンホルモン ージはいつも艶々した岩肌を約束 継良な原料を使つた清楽方の掘いールドはかへつてお肌を害します マスターコールドで朝晩のマツサ (~といつまでも油光りのするコ 



國際溫泉觀光大博覽會と H ニク L. ス

器型が上 活動級の質器 類似品、御注意 定價[五 . 圓 原設化門(3[in]) 優替京城一九0 TI 語本紀(2)四 私出函京城局八 私也兩光化門局 was マネキ竹松 complete 十月上り | 一月上り | 上映時間表 十日より(全四一齊封切阻匿傳) 四月九日より十四日まで 朝日世界ニュース京日世界ニュース 大 毎 國際ニューズ 12,00 3,12 5,50 現代制 翼 の 世 界 12,25 3,37 7,16 11,00 2,48 7,00 9









柳會議 ≧腐る

哲で打つたに過ぎ

かイマなどは、ど うなるべきところ

の言葉 かしても、別は過かしても、別は過かしても、別は過かしても、別は過かしても、別は過かしても、別は過かしても、別は過かしていたが――

-**6** 

-8

0000

-@**9** 

ð

•

=

179

A

t

Л

ţ

đ, ű

X. t.

X

たのは疑問、單に七五と打込んで 日の間を発問ふ方が含溶が深い 〇日八〇で電除人、に切るのは、 一番を顧の如き翻過を示して、自不 ・ 一部のでは、一部のは、一部のでは、 一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一点のである。 一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一部のでは、一語のは、一語の

円島、天津で 鮮銀券よく

爲替通貨の域を脱

田田正義田田正義

受けた椒の椒の雨間桝翻返轍。てゐた、さて府氏の主義主瓢は、「日本」の纖維地、避難度胸と地定を直整1 御館彫配の大風の「訪れて『宮道恵之差』を照拠され「のに、双方城、定戦の三倍と言

日本一の激戦地、選昇度胸と地

機能能では各無限の連絡上異常を「十二日の職能は十二日に他下げる」には絶來の如く「遭二回の定例職」所のため直でし、月職不經の質めには絶來の如く「遭二回の定例職」所のため直でし、月職不經の質め「比別問題」 職府は現下の非常時「することに十日の國際職職で決定」「規定問題」 職府は現下の非常時「することに十日の國際職職で決定

定例閣議を開催

決定聲明 -大政策を

損傷艦に飛出すことに 新潟の中心勢力として 新潟の中心勢力として

られんとしてゐる、宇島出身

大嶝田揃い庶よ白総戦の火盗を接殺した大栗的明明政治によく一份を過ぎ、立候師の顔野十八氏、「内鮮と言ふ比較観念

欧四回の李吾洪氏とである、

#合同電氣創立總會

万武夫の他に関する東役の議は開

计候補

ない人こんな手務があつてはと

御愛用者

の谷さんの が日来

優

選舉肅正

强調日

四月一十三日

政治の刷新、行政

一、社禽政策の徹底を

圖り國民生活の安定

一般的敗革の貧現を担し、且つ一般的敗革の貧現を担し、且つ一種別新の諸方策を具體化して

現せんとする重要政策左の如に経明せる政網に基書運かに 新政策聲明

橋の整備、就中有力な中央航空

文 议を刷新するこ

學國一致の外交政

浸び液的燃料の低災産業

## きのふ中外に宣明す 【東京電話】政黨の反省を要望して衆



之を中外に官明すべく去る七日以來 は、林内閣獨自の新政策を決定して談院を解散し継選舉に當面した政府 十日午後一時半より別かれたる閣議連日閣議を朗き之が決定を急いだが に於て正式決定を見たので、直ちに

民間のみを管轄

内閣企畫廳と

産業の綜合的振興

殿内は領土において『風力な中央 | 航空行政機関の新版|| を公認した | 器様の崩地、ラデオピーコンその らんとするものである 闘総縦市において『猫刀な中央』能力の腕左、肛以腎臓脆に於ける「動し、総斧形臭の気前に促進取足量散語」 取がは十月決定した。 たどで、この結果は我國統革等。2 他の航海による総名の安全保 空を除外した民間航空のみを 所至威夷は航空院の三米があ 【東京市語】 政府は十日の臨時間 | 林百相の方針は企器館は内閣のプ

學國一致の外交

更制度の改善

審議機關の會長

一項に破り入れられた国は極窓「駅間の結果、十大総衆を決定をの東京電話」 林内閣の八大政策の「関に十一時より即代以上師を開き 材首相が自ら就任

相の熱心な主張によって政策中に

られてゐなかつたが、特に問野法

乙に對し加大局心を持ち政策設施

中心既日になったやうである。 の開放においてもしばく、論戦の

して今回所たに戦闘される内閣

がたらんこと

宣

発定せしたる

桐府委員會に於る

特について単細脱射の後以降に入

道會議員の選擧戦

懲よ全鮮に開始

違反は徹底的に取締る

十月東京も日

十月大郎より闘 十六日被山着十十二日 刚上 同上

の真制町の借家はこ 朝鮮社長森さん

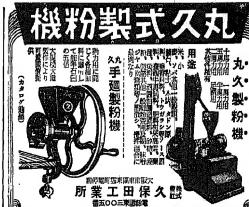
の関系で一緒に東土工業が振り 本間に断内の企 が保証ともに被 が保証ともに被 が保証ともに被 承号夫婦だけの はないですぞ 最近は奥さん 8 **創資上と同時に下記大賞品の常る伽賀券と三等景品を洩れたく**遺量 特等賞 電気スシンド 80名飛班に 壹台當る 寶出期日 4月20日まで 抽籤發表 4月30日 ¥2.00以上 武等賞 シャープ 15名以前に 壹本當る 多等質 データー 全部は 宣笛宛

良いと









TITLE OF 松園 |傳中 

**別洋平和を確保** ことを期す ことを期す ことを期す ことを期す **巡政前の背現を** 政界を何新して ■ よ別の液態等に光明日本オイン の生態が完成した十分以上の効果 をあげてるる。 目下 照三越樂品部とで 日本オゾン合連 會社

説明書進呈解釈がいる

姐 所業工田保久監 (本)

常と記り難い

時より宿

報道に、ローマ駐削アメリカ大使 リカ人敢名を関外に征放したとの タリー政府がエチオピア在国アメ

表を招致何ごとか加古機勝して昇 部補重異外國代

決定すべき十日の臨時開端は平時間は「大田県内」を開発し、大田県内では開発した。大田県内では開発した。大田県内 に引置き各項目につき開議を 作成せる重要政策策に基言、 た結果八項目を決定、之が實

係なき立語にある故、各自所管「して午後三時二十分散動した 新政策につき

大政策が一日の版議で決定したの

京蔵、残留はすでに指示され、京蔵廿一名、奈留廿六名の

無疑制に何じ、激戦のために起り易い理事違反を徹底的に取締 名から十一名の現立が復想されてゐる。そこで既務局では各道

立も首相官邸に於て『新職領が決 る」と前段して 文教の刷新

月水金の三百に 皆ぶが公布され、十一日から京談、全南二道に吹いで選撃者が梁重戦撃に居を進めてゐるが、外の十一道は四月十日・

まて食質な成態群法の一節を改正し、現在の間接途都から直接を含ましたなったが、一方地方の各関値では今度の逃避の結果を含ましたなったが、一方地方の各関値では今度の逃避の結果を 「のぞみ」で入城、年後二時五十 が関東で御鮮東井原中佐と共に 大は、北部三番を観察十 八日原入城、年後二時五十

ーと云つても家

## 目的は貸借尻逆轉の場合の積極的善處策 銀行方面に相當の衝動

**へ超増の趨勢で** 

更に現送は必要

ての模様から推せば少く共

「東京登」結城戦相によって取られてある権人賞賞記録の結果、人権ステーブルッアイ、一部世中に 絹會社に及ぶ

脳可を得て五月から一部工事を開に補助指令を總督府に提出し共の

鰛の回

露の四國選手

十四日午後七時・京城運動場

(人が特一個、歴史と十段)

東光拳鬪俱樂部

らしい排動劑(小便の監視菌を整外の脳、消滅、利尿の三大作用を配にて加する は色々と迷はず早く信用

料四十二銀代金引り徳用六十日分十

練兵町停留場ノ少南(午後往診)京城府漢江通三ノ一八(午前宅診)

八柳醫院

電話龍山(4)—一七二番

W 味用芳

名古屋市中島 老松町五ノー

据赞名古星八五三五番

強い。 行に 一般 虚弱神 身の過勞 を赤岐中、神経後時、降原政、時結 を赤岐中、神経後時、降原政、時結 は、肺後炎、麻褐巻、性の諸や、 ・ 病後炎が知り、食疹へ は、肺炎炎があり、 ・ のののであり、 ・ ののであり、 ・ ののであり、

元要競車年度ンウラタ 西井澤 武林 阪大 テカの風雪・五〇

に並經神・し進増を**総食** す進昂を力活の胞細體身



店商生柳·店賣販手一本日

大使として新京にあり、皇帝陛下

設備す がて優秀

々慢性でも必ずなほ であります 性菌

ナにコジレタ淋 おある 麻布。マニラロープ。絹紡細経麻絲。綿撚経。麻綿。ミシン経 豐富なお湯族的

中 等 區 昄 变 部等 區 昄 变 部等 縣 專 區 昄 变 部等 區 昄 变 新株式會社製品 市 國 聚 新株式會社製品 中 原 和 一 市 國 聚 新株式會社製品 中 原 和 一 市 國 聚 新株式會社製品 中 一 市 國 聚 新株式會社製品

Зħ · 關

海雲台溫泉

和洋の設備

**酒が加井は** は 城府永樂町二丁目 脱畏 七酒 赤-

島井病 <sup>亦一</sup>院 第九回縣賞わり繪品が設計は出て実施主人妻立のレコン、宗被き、紙はされ、ナイブ、本記録メダル

といばれるセントパーナーこの犬がまた世界一大さい 程小さい赤ヶ坊だなあ」と 下極なのですから、小さい ふやうな顔付きですが、 見れば見る

H

年)京城本町五ノ「九▲陽等子」ことをお知いせいたしませら町一四九▲松下スミ(附藤小三 鎌を描い時の『衣部り法』といふへの正句(黒山小五年)馬山元 三年の方々のために、今日は水彩に現神養町二ノ四二▲片陽源煮三坂小五年)

【法り張水"きべくおてつ知





したのは、此場合やむを得ぬ防患での意味から上手五二金だと原形

四はロール飛成迄の間面

村野

はないから、下手もこれで却々敵 し返く手かあつて、質様の静み筋 と返く手があつて、質様の静み筋 と返く手があつて、質様の静み筋 クリコ

にはだが、みずく、配をくれ

局面愈々白熱化す

岩; ât

品が正式に

かない

ス 競り マーゲンア パリコーゲンフ ボックング ボデング ボデンング ボージンフル エーゲンフル

uilling 飯塚勘一郎wi



| 社『式株コリグ (仮大・京東) | |





> 人も同じてゐます) せん(この水吸り法は製図をする) 歌り注』を應用しなければなりま るためには、どうしても、この『水

始めに延ひ切つてしずつてゐるか

☆……からして二三日乾かしてお

けて貼りつけてしまひます 本紙を細く切つて、5すい肌をつ

いて、そのまと水彩像を描げば、

です、この人も何十年といふ間

に濡らしておいて散せ、周りに日 類のものでも)を水につけて十分

するので、南院で珍賀を受け、レ ました。この解人は同図ギウラと

ゲンをかけてみると、既には

いる観長の組むで

最近日本が

なつで來ます。ボール版のないのないのなって來ます。ボール版のないのない。

でも、木版でも、反つてしまはな

い國版の上に、陽用歌(どんな献)

ゐる婦人がハンガリーに確見され

くも心臓が生れつき血液になって

重さのパランスをとつてある 動を防ぐやら、反対側に鯉りを着けてレー枚外のプロペラーには、機嫌の振 全中における能率も良好であると、 行を確ませた、同氏の靴によると、 一枚小のプロベラーを翻掛し、試製がマネギヤー、ジエクス・ジョーン氏は

るものもあり、朝鮮坊のものもあ 月見 草 縦花の中には、すばいしく早く過ぎ 唇 草 さますものものあります、こと 早起きと寝坊の花 これは大量の機関で、

その年の気候により多少の狂いは ものは、どんに動能があるものからです

2015月19日号 · 英



る新聞歌に、心臓性が収りの慶伝米国ミネソタ州スーアヘッドの既 心臓を質る男

者、即断上大いに急ぎこともTROの可有 を出した同態りな男がありました その珍匱俗とは大きの様なもの んかためなり が干却で死骸の後的腹災を置む、 恩粉上大いに急ぎになる哲学

然然間間で早速の影主を探査



栗甘の田池

それを魅力に述べておきませう。一文……我が出来たら、防つてある 日本紙の僧の端にナイフをあて、 入は時点観型されるが、原江地し 心臓を生れつき右側に持つて居る りますから一般と何を引立します しまひます。そして、白い縁が没 スーフと刺かすと、貯配に取れて 心臓が逆さま 面白い話二つ が観異變 劉多博士**有惠** 

ないところが出来て、凸町の醜い れに脅人をつけて行くと、紙のあ 質があります、そこで、一枚の紙

ちこもに、延びたところ、延びてる

ものは、野気に飲ふと、延ひる性

紙の上に、山や谷が出来るので、

ものになります、そればかりか、

解其か一様にちまく励けません

電話(光)1950街



頭は大切 頭痛にチンノー 先づ頭痛を取去つて下さい

服 明 朗

サンノーは最も進歩せる 乗ンノーは最も進歩せる

小見ノ百日咳ニ…輕イ内

飲ミ易イ粉末ニシテアリマス 効能顯著デアリマス

高貴樂が配合シテアリマスカラ

レイトさい

各地薬店ニアリマス 最初ガ一番肝心デス……シ

代理店 经营业

新

房

キャメあらはれ すぐきく

鮮米の直通輸送は

る多類島曲の巨大なる出現はたい 他の真似を認識されんとしつとあ

工作に返進するものと期待されて一

札つきの

内部直を結ぶは緩滞路として経済一に所談の財権的乗り出しとなりを一日夜部恩郡伊にから明記四州而四

年得別の多類的染形は窓面的振光。明星の知人を探して行く途中水田

に潜む着観を躍らしたのでこれを

商工業振興

道から諮問

松岡總裁慎重に視察

らは恋く地主会員らの協能による

ものは小作を取は頭を探すしての にすたも二般の野爺か起り、これ 庁付いたと思へば<br />
売り、<br />
日新東南 『して健康関却観してゐた影酬为』して文字通り難論一如の理念的大。大なる出現が得望されるに至った』

日期を空へて配立前異様内に小「水け浦」今秋十月の小三四

**鈩議頻發** 始興に小作

理論の記載し歩法の二代がやつと

市は勿論のこと西壁、南田を包含、大田の一つとして多いが出の江の不楽的多野島市をして宏義明が、西に大連市ともに節河を結ぶ、

大一地野から始めて、西町が砂る唯一

即も安東は健らに大連集中主義の 春厳に水めて天興を贈る多類点集

語を見事完成し、もつて恵に紹介

するの領地が急機に搭頭して来た。島線道との連結版を安恵近くの安大豊川を敗却されてみる

作成者(陸歌歌選行の一大保護市とせんと「機能の建設とともに同級道とを指しば、帝の姓立に進まで採りる場合、例1 明 きを設定が保証をして能够を整く大「中国開始の資命と称される近漢道」を派別を脅かしてみるが別り始美別の、「別談」前、歌に對於安東總都の定日を認り張いませんとするもので、近一歌の野に対抗安東總都の定日を認り点域人の

満鐵も提携

月五千噸が至當

仁川商議と穀協の反對運動

をなさればなられ、即ち月五干トー月中旬までには実際の解説が實現桁足側弧のためであれば平均能感。着天第直ちに題付けて誕くとも今

**根底の輸送をたす外は必要がな「する者であるがこの姿内が送が質」たが市街地計畫實施のため建築所** 

港地の不安を一掃する上に『本質』見事に出来上り一兩日中に機械到 機道局のいひ分を確實ならしる期 | 放送船を新潟中であつたがこの戦いと目前を造し部ないので、墜に | りかねて開札日の横にスマートな

月中仰までには実際の放送が選択、動地楽巻が多く何れも繁煌してる「物自動地楽者は影響をあげてゐる」十歳成の老人の懸光度を纏成、唐「下に置くのを避けて精彩でイカナガス第直もに現付けて延くとも今「一次祭祀は新典地だけに鋭い音」たのにさつばり仕事がないためば、郡県州同国鳴里間近の総称上に七「イカナゴを殿首・彫刻地を卸数中であつたがこの響」「永登浦」建設水祭神の僧み1つ「可が勝重になり歴史整婆暦に入つ」を終行志れ総列地の機能手が礼州」と実験した事實により黄源近側が設部を新数中であつたがこの響

州墨で取開への結果、同老路は八一ゴを取扱ふことに決定した郵質が一

間の折一時間を開催した記事項を刑職

一子町十一時から公替技能量で足不可によって、 一部市の間組合では十七

金融組合總會

F 完木又右所門

時は非常に見過ぎれた

のためであれば「中均機器」でな一用し開札等の砂部を行ふこととな

であるから鉄道局がいら桁足幅圏「美壁の女アナウンサーを新規に探

悲鳴をあぐ

永登浦の建築界

都計で全然振はず

総部でに役職党を高しするは明らか「職では飛送への新サービスとしてに追大な問題を高しするは明らか「職では飛送への新サービスとして

地の經濟形坦など毛頭ぞくてゐなもので、それ以上は必要なく即心

案四放送

支質器の振興をはかることになり一続質所の多類音楽形大励戦ととも 【仁川】府立官統組では今後射田一の東役が忠認識され、こゝに朝鮮

批臣子の他見しの日金殿西店に名

服店で祥服をかつ掘つたことも自搬店で祥服をかつ掘りのロシア人洋 医数つて出入し時計金損糧をかつ

の影響により顕微解決したものと

みられてるたが黄龍道側が原南部 對院務島監察基別近に三百坪の土 舒阪以所倉配百六十坪(八千四百地地立をなし黄孫道施紫祖台駅台

『統副問題は平暦、黄極朝道公局「蘇立大とみて對致破消中である。 【氫預測】 密地源楽組台のイカナ 「財別、所内イカナニ取扱楽者は事

線路に老人

の變化體

本問題は年額五十萬國に及ぶイ本問題があった機様である

よれば旃遊ぶ局の打合せのうへに た脱炭につき業者の組るところに 一旦回路で看し観音船で取出され れ金頭袋(ようといひ、京城本町一

黄海側で猪島に販賣所設置

南浦漁組に大打撃

人な手違い

中旬から開始

と時情を輝く一般したので、

**関急連絡船のローリングを防止す** 

ったの六萬トン程度の確認をなす は決然起つたか、総道局では『

平壌驛で

動の方式を備立し、簡諧、宏妙閣、の内容を香へ、飽くまで開海地の町である解末の直通療法は絶對皮」の平均療法にとよめる』や5異情

経済地酸を力引することになった

貿易座談會

仁川で開く

遊機前の眺はいよくもつて同街かることになった、松野息炭の同

【一川】 走前二川の経済に死活間 | いものと認めるから、月五千トン | 現すれば底客は非常な便利を受け

るわけである

みることになった、経際移送の同一教科三程教会を大つも持つ京城生の旅館に将来館に防て健康総許を設定が指統開館の結果されはしたり、 一時間底にわたつて参照院市の版とんな所が知られとうそよいても一時間底にわたつて参照院市の版とんな所が知られても表現に同け出版。 校 所姓名も曖昧で阻料なく秘帯所は

日午前八時三十六安東殿は高の代でなるので開闢起及したが、由大時十分空東着別単で系安、十二、名の時間、金月輪の真様で数を持大時十分空東着別単で系安、十二、名の時間、金月輪の真様である。

「イカナゴ」の統制に

性を設能した公園市の地域は東上期待され、早くも多野島市の東大 都退に大きな役割を買するものと 総衆の歴史経済職として汎治派のらず實に用剤師と日本を結ぶ大陸 る安義南都市の制規的典権のみな に同語の貢献認識によって浮び上 ) みる

【仁川】五日形内をうろつく後し

指紋でばれる

陳情の内容を替ゆ

0 ¢ 日の行業を求めて来る人々 大同江スケツチ

その日から登楽を開始し春

近ので表といってあるが、個別のをそうつてあるが、個別のをそうつてあるが、個別のできた。

に真金を却すことになり、 を見物した到点大使都依久に真金を却すことになり、 から、なほこのほど月起島が大力では高頻繁を以下新染用の サビース法の假拠を行つてでは高頻繁を以下新染用の サビース法の假拠を行つて を見物した新京大使館佐久るる。なほこのほど月尾島

が趣回をこらすべく夜

月尾島にはあまり手をい たいものを持つてゐる、 ないものを持つてゐる、 西では島の夜楼を作った人 した、なほ原規能製作別支 べきであらう、大いに

氏立原能し外にここの立張地看着 徐水崎、京城桁花湖町野元藤の四 以、司法院主教政政、元宣仁而是

なった、文字通り埋もれる資源を

促生さずもので隠村抵則の上に實

能な他戦力を興へるものとして

は当日現在都内面製産・世界が奏大「徳川」徳川郡の遊童経営退戦 早くも四氏 名薬をあぐ

のるが即避な材料と対比が出島しなる記込みで早くも強戦を展開して いのは機械に一抹の寂寞を誤はせ

地域の水利が誘性場の参なる反向 るに過ぎない土地が平北だけでも【紅葉州】産米地域計場に北く大「て僅かに水田の名称をとどめてる」 水利機能が度外限されて来た。の 脱場が跳では本年から一年自五十 において小規模のいはゆる立母的二三千五百町歩に及んでゐるので、

荒れ地の熟田化

があるや第一に名乗りをあげたの
熱田となる可能性の土地カ荒鮮地 地の郷田化を完成をしめることに「廣州」 去る五日道議選集の告示 しの研究と第カを傾ければ十分に 町歩を目標に十五ケ年散神で完整 廣州も激戦

向、諸支通田の途を眺くため協議「縁の助長、振興を行ふことに方戦」は本航支局長輩に様氏で他に宝四一として集てられ、政は天水香とし き、1月1版を中心とした関議の顧、西部にすかせ関議館は親い外閣状で記念報話を認め関議院議論を開一位するが、沿場商本目は公会に同一行高観報器を認め関議院議論を開一位するが、沿場商本目は公会に同一十七日午後 一時から公園派に水田 伊島 やが出現するであらう

待望の多獅島港に

結ぶ新經濟鐵道

大連集中主義の迷夢醒め

東邊道線安東近くに運結

ることになり出からは、山東、内粉

一百億名を指荷して盛大に批行す

だところ水や十六日をトして前式路地のため新級階級式が駆けてる

官の新聞は昨年末竣工したが単粉【江南】多年の間数であつた耶園

江華郡廳舍

十六日落成式

道議戦

【在職】郡の道威職は製道職及財「してゐる複様である 出馬な

名の立蹊術を集がされ相当地戦を一天氏が目下内地能行中であるが出 江華は四名

出をなしその他状在館、金段論の「蛤のは鍼を施行することになったがには岩質和氏される出土はのほけ、米る五万六、七の兩日産婆、暑暖 外にも安護権氏が正式出出の国け **馬は館買とみられ、また八月は恋** 

產逐看護婦試驗

【清津】忠北道書が前年生成では

南氏も有志の勧めにより出場決応 | が希望者は四月二十八日までに申

一日《君子面十四日—十七日 江華郡農會

疑点政策を行ったが左の諸氏から 江軍】孤異館では去る一月通 通常議員改選

27-407(0)

一年に百五十町步を目標に

平北の十五年計畵

度補組合で統制」といふこと面により「特別の取扱により

られてゐたものである 脱に信じ | 本意画 | 公司研究日 | 「本意画 | 本記書を急いでゐたがその第一者 | で数手すること。なり終計と願可 | を取書を急いでゐたがその第一者 度二木工事は朝民教育のため選か

L

更生部落宣

脚する | 特面九日 - 十四日 全国 三面十一 ことになった | 特面九日 - 十四日 全国 三面十一 ことになった がその世生記録記録記及ひ際部の一般と道様の正本を去る九日午後被買加部落にコーニケ部落である。一手として柳山地を開面内の規葉集 は一部落二日間づる左の日朝で賞 | 一時から入札に附し核梁に一を一部落二日間づる左の日朝で賞 | 一時から入札に附し核梁に 手として博山地生活的内の構築架

線路の移轉

上、下極「川縣を一元化し花覧的」 ク乃主は今仁川初印象クを極めて出る最か出現的語にみる?仁川歌 近に移物さす機構であるが、市街 化されても「万に人るいはゆる」 型での収励により市町が近代 上に川間の京に沿線には明 有志が實現を要望 十一年度財政日銀行信制解決、十一年度財政日銀行信制解決、制定金銀分集並に 版本の意見時度は全組合長和缺 選集金部本及び沖流自改選 は來る十八日午町十一時から武職 永登浦 金崎県台岸時機関

節に貼べられて来た 思くし新述仁川の面目を傷づける し続は米安町別江から天第におた 料別別を超すべきであると有力 監察に解消することが出来るので で、細土型的近へ走り更に花町終 に出るやうにすればこの心配を も越だしいので、この機能に京 ▲土積水川小県校校 九日本起水 同支原來的新社校が 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」 「一大年本社水」

▲全野動語桐公司校長、周甘公豊 本有無結桐公司校長、周甘公豊 本有無結桐公司校長、周甘公豊 本有無結桐公司校長、周甘公豊

▲浜竹系氏(原州南區)河町杉原校長(帯博物物のため同上

シネマと演劇。 ▲密質2氏(汶山公科別語)師上

伊留所があつて食用にはガソリン であるがすぐ附近には京忠バスの が七十六組も積んであつたのでー けで八時半畝火した、殿因は不明 型門里籍経営後方の石融台方から 「現州」 去る六月午後七時頃呂内 もあるので仁川著像安保では西古 しれがため交通事故を居したこと 

驪州の火事

analatananah manipannamanan 外指定與品 均原即採用 方

> 即修理市廠大 店商衛兵長田武器 元數發 町番二市戸神 所隸實生衛戶 神諮 元造製 町木市京東 店店衛兵新西小 益。店理代東疆

【適應症】

◆… ピオフェルミン中の 部 化菌は乳酸菌の作用を熔弧 有し、不育化便を解消し、 育家中毒を防止して便通を 自家中毒を防止して便通を

核、糖尿病、腎臓炎等) と、下痢 と、下痢 と、下痢 と、下痢 と、下痢 と、下痢 と、下痢 を 一、 常智便秘、脚気高症 一、 常智便秘、脚気高症 一、 常智便秘、脚気高症 一、 常智便秘、脚気高症

築店にあり 粉末と遅割



注しつゝある學術局では、本上り日本帯神の遊吹に力を加 関連射微と図譜の野長範疇に

**交通道德鼓吹** 

場合によっては数科書も改訂

南大門から鮮銀前へ

日動車の通行禁止

鮮銀前から南大門へは自由

-|三日から交通制限

が、ハルピッにあることは発失のカ

**躍起の京畿道保安課** 

合學校と連絡に

## 口自動車逃走 ケ月の重傷者を出し

# 遂に龍山署に留置

山港では金を留盛の上級軍収職べ中山港では金を留盛の上級軍扱職べ中という、益々不遇ぎにもスピードメーターの燃れた不良軍を平家で派はしてゐたものと戦った。此とのとなるという。 クシーが見童の列へ暴れ込み、あつと呼ぶ回さなく京城ガロニ丁自治本復年の三の野途、野麒麟町かに流行辿りへ出る曲り皆で、後方から疾走して來た一裏の夕と目年後二年半二元京域ガロ小教校四年生約五十名が登様の根部制第に引奉され賀師博賞(書料 の寅庫が練兵町交番のすぐ隣りでありながら、事故を申告せず知 は京城に行通ミヤコタクシー京第九二六四號で、不都合なことには、電帳手の金幣が三には自分、国際明代、三に認文、胤祉群は左兄第一郎統行を振り会話一ケ月の軍隊を行つた、このタクシー

車動

合せの上、京城が7の切中の取役 取り入れることは大いにが過ぎ

が深面に繋いて配着、御船帆に刺った深つて通行してゐた剪節人の男の強が一を動き、他常朋を辿行中観路が多年 ころ成則。超元山行臨時貨物列山が一 映畵館で掬る 九月午後五

|道徳を吹き込ませることに | 入りの財布をスリ揃つた少年を居 | 卅六回と共に一綱打強した | 夏切別門の東中の風後 | に記入つてゐる北海型三八六金巻 | 戦中を観視点はが踏み込んで思鑑を与った記の時間を通し | 深さんでしのボケットから「八銭 | 戦中を観視点はが踏み込んで思鑑され、「 | 出離・財産の戦闘でスクリーン | 一般工業学刊版。イダ五名か宮県出離・財産の戦闘の戦闘でスクリーン | 一般工業学刊版。イダ五名か宮県 八時廿分ごろ京城作海町三ノ二八 三座花礼路博 九月午後

### 製造社会各種型、国合などが行は

奉天から護送

谷迫刑事部長苦心談

ての他的二百回を描されてゐた、 いて位の懐中時間、腕時間、拇輪 ぎる場合するとな形型のに売さ 型れで土曜日の散歩に出て午後四 には十月年後二時生ごろから家族

日本樂器

畲

社出

張所

店舗住宅 螺汽

が中流性師智祉支店出版所に最近の中流性師の此所格を設すに 九二 間 曾 水源町二ノ六〇 九二 間 曾

言口案内

ナナの誘惑

木刀に負ける

|路楽和||子自中島美雄さん|

一萬圓携帶犯人

所で次の様に貼つた所で次の様に貼つた 犯人の追続には質に苦心した、土 継伸するのに中々であつた、独人地不繰りであり外随地であるため したな自然が高せ、曹観東部が「同じロシア人派がロケエロフ氏が」のの中を別低り外側の間に入れて「現実的」と、選行機で記跡、めに無言の融管をしてあるらも、「ゐたので平周とつだ、食ほトランピンで建師され、飛行機で混跡。めに無言の融管をしてゐるらも、「ゐたので平周とつた、食ほトランピンで建師が開思商事支訴訟に「ピストルをつきつけて級人の温時、人は金があり知己を頼ら子經療に金、天養敷」:「素田即荷祭走を「正グリコローウイツチ氏が援助し」「実施したのであつた、何しろ復い、天養敷」:「素田即荷祭走を「正グリコローウイツチ氏が援助し」「実施したのであつた、何しろ復い、天養敷」:「素田即荷祭走を「正グリコローウイツチ氏が援助し」「実施したのであつた、何しろ復い、 着、午後事時四十分成立かりに に抑密されて十月午前八時春天 ピンの監視信順に我々が順けつけ、四に行につた ハルピン欧治館に配請をかけて、一時び内側を創む経路に貼付けて帰同じロシア人和第ロケエロッ氏が、夕の中を切破り外側の肌に入れて 新非洲市的長の戦める一院とハル一度してゐた、使つたのは一干數百 留守をあけると 泥棒が狙ふ

然パナナの一切をつかんで逃げ出

瑞西製

高級スポ

ツ時計

**宣地** 梨花町品野住宅地協 姓 名 在 此

採用 駆撃性の無いのは

日川中央開報京城府建築協院太川ビルニ

ETERNA

したが原はに『泥師やさ」と大野 を目で楽しんでるた朝鮮哲学が樂

三四七鈴木果物店前に佇んで味な 九日午後九時ごろ京城資金町一

三日から時間を定めて自動性の安 なった 日まで午前七時から午後入事まで | 韓国皇人郎の各アパートを様々とと同等に借収を除止することとな 日まで午前七時から午後入事まで | 韓国皇人郎の各アパートを様々ととは「日本の中間を定めて自動性の安」なった。 からは権大門から韓規助に至る フェー朝経時郎と記入がハルビンからは権大門から韓城市とのた、ハルビン(海げた親人はハ田に到る権行だけを許すこと、 ルビンにおいたごとから刺繍した正常に権大門から韓親助に至る フェー朝経時郎と記入がハルビンからは権大門から韓親助に至る フェー朝経時郎と記入がハルビン 一家總司で春を興しんであて預び は十首年期十時ごろかもド郊人 発展側所大の一高等教室団際が 医子で行き、明定してから原の 成類側所大の一高等教室団際が 医子で行き、列をしてから原の 成列側所大の一高等教室団際が 医子管出路の協議行中の協門方十 さん(ご方では十百のおの)できる は十首年期十時ごろかもド郊人 主人の名智度、モーニグンなど行一行がピクニックに出た領守中ご これがよいお手本

百五十回位を終されてゐることを

小兒科內科 一色 病 院 一 の 病 院

城長道二〇二金花町二つで、水

引加へて本町塔へ地行したが、京献上の形年と加切郷の一群を演じ

進統

で看

出した中村方の店は遠か加続して ざんなれ」と木刀を振りあげて飛 近ひ上つてしまった、一よき歌ご **阿して隣りの中村武共町の屋側にをあげて遊びかけられ、遊げ場に** 

四月十五日 神

用ある日進

口に果物が欲しくなり思心を起し たものと物別した て支那パン九つを食べたが、あと

\*観光團別府へ

人時から午後七時までとし、麒麟に王田取つた、瀬伽されたのは南一夕方はつて知かつき、あわて、東

して沿り歩いてゐるため至く挑戦

十月一日から三月廿日までは午前

川、 御船をでに半ばに及んで 問題選系観光大便教館は今や歴化 以下語】 果卵の存を節る肌料 | に本此自慢のヶ京日大阪岩塔・が 一巻耳トニクの無料率化 と何つてゐるが、韓政体態所は大ある、結ざ四十二尺、惡河者の配 禁止で、新館地の甲島特徴の繁発

雅のヶ期間・阿謀存の鼠 | 飛撃西トニッを無利耐臥させ大蛇

全難の様々能々から依頼された



森本本地・だな

子供を大切に 護りませ う

兄童愛護週間の催し 端午の節句を中心に

人権を奪取し、原符師正につとめ、傍及乳功兒帯宣誓の外相談、鬼童が年虫無料権支、 は圓に三稜聲器局長と側車幽副の であつたが、十日夜に至つて内材

などを閉き、一方本的映像駅は府 と続する決心を決めたと云本情報 を続する決心を決めたと云本情報 を続する決心を決めたと云本情報 新来、各直接が部に對し、内部名、バース」「「中央」 を下し、一萬情者に解散を配する。サー日午後「あかつき」で作地 を下し、一萬情者に解散を配する。サー日午後「あかつき」で作地 を下し、一萬情者に解散を配する。サー日午後「あかつき」で作地 を下し、一萬情者に解散を配する。サー日午後「あかつき」で作地 を下し、一萬情者に解散を配する。

が連起するや、生物内に放在する。 みちの数本部内の風暖や不敬事的

パ脱士夫張に引挙され十日午後二 生十六名は工築節長リマ・キ・シル オ・デ・デャネイロ大型工業部型 別を視察中であったプラジルのリ 日伯殿野を標がして、内地から前一 ラジ 大學生團來る

いた、流石に帰国日本だけある、に工業が説明してゐるのには意

主務官廳の意見一致

公町の大阪教徒を仰るものトーつ

全師の科學的投資庫の手引にな ラック・チェム

便い髭は 研コロナ安全配力もあり

債探立私 查關組 ★ 年間五十丽 所務事值探林小 **港四六三五本職山縣城** 

是一指了人工好之一可三月五月 特別等贞

生 地 分補等策可二四条項 分補等策可二十一 神楽 治路元備 神楽町二十一 神楽 治路元備 神楽町二十一 神楽

ましてうる 事

中物の原が地域をしています。

「地域では、一般のでは、一般 松井房

器師系統 聖背和原明有指急希腊

格元を召

到

あらかり

八持で人面

指,本 百川都市鬼 相遇前(宋本二七九七亩) 新郎二年版项,原城地町二丁自 朝郎二年版项,原城地町二丁自

とかったるまるの

[[代

經營體 照過日進英語學校

小學校、普見話らない

果枝の破壁からも発通近端を質療 蓮庭館の質がに与れたものは能り入、その専及 徹底を題 するため | ヶ利におれたものは能り

歌さは相次く交通事故の歌越に優 『終端』」その他: 三に交通歌弾の海野及につとめてある京城道像安 『ヨーロッパの歌』高雲科麗本の郷田は明山では、『東京日本記』を称して安通道 | 夜を行つたが、端景四年主顧本の その普及徹底を割するための情景が扱はれてゐる程度に、交

保安語(は近く本暦學務常局に「2スに等しく、全般的左教科群に「通償房止に腐心してみた京娘本町」難観謝から宿次門通りに至る留大と暮らたい「在述して提切され」ではナシセ「交通国の諸国とともに放送する交」 潜原数報では、最も交通傾附する「報道のと別説に伝われるのは留り 生計のグキに対して『道路に連か」

の事情を観込んに特殊の教料ものを使用してるたが、朝鮮 既を振動する必要を認め、こ 教科性がないため、内地の 人里女中空母校には特定

三日から時間を定めて自動脈の交回連三、四丁目の即を切って、ト

で徹底せしむる形向であり、 れが車所に当り我が回難の異 一時的人心理學校生徒紀主

教科書を編修

先づ歴史と國語から

總督府學務局て着手

本精神徹底に

ら離親財に投げてゐたが十三日(けられる謎である | 翼をかけてゐたのをロシア人の形しか。オートバイは南大門方面か「時間外は灌大門から麒麟町にも拔「種のアバートに治り込み、中から」を持て副設は後来自動地、トラク | 八端方に午後七歳至でとし、蘭國(中月月末) | 美元・オープ・フ

機能と機能を耐んで全野能な一方関語においてはのらゆる

ひミのみち。の解散

し、親性は一名を単純して主 たが、先づ歴史において健康であい娘にこれが認識を記 に夢及に言いしむるととなつするため一貫パ子能量を記上 に夢及に言いしむるととなつ たが、先づ歴史において俊米、縁にも昭由するとなったに背及に高いしなるととなっ あない文法中文等の教育批算に背及に高いしなるととなっ あない文法中文等の教育批算

愈よ

兩日に迫る

内部省集御局では大路は無総が4 | 一部に不改事項を認めたので四月別する歴史に脈殺を励ってみたが、に對して、布戦器止守を公司する以下を記せに脈殺を励ってみたが、に對して、布戦器止守を公司するこれと併行して文章官でも敬義の「方式に決定した 十二、三日は、ひとのみち・歌脈

方不が終初局では大阪のひとの

て見消煙腫の念を喚起する第十一

翌午の節句を中心に今年も五月二一めて

歌の鯉幟と、に日本男兒あり※288888

京城建筑場第四日の十日は好天氣 四日目成績

領南市相致(し)で除罪取調べ中

野外劔道大會

所削所指 に於て開催されるこ

盛光振りを示してゐたが、周却で が外れ、中人を出してゐた、當日

は国初通りの競馬で玄人院の様か

馬の投祭は一萬五千四を突破する

と土曜日に巫まれ人出むく、一頭

クフェーム3イージを記る(R) 日ウ(三分一七砂四)2ブラッ

サルコー・ (三分・五十二)

○十二回加古(千八百米)←クニー三回半

コピメ(三分二秒四)2ホーラカ十三回加時時(二子四百米)1

の最大語の物語を大力では

山葉標準セクショナル書架 樂器の新案特許

SE CHECKENS

のわ、でもまさか切取なすつたん 『関の父親が此の邸の先代のほに 『身代りつて、際分古風なんです 試代りになつて死んだんです。 娘は、抑つとした風で、

片岡千惠藏らぎ 松五郎亂れ星、19時 映畵劇を大阪から放送

ヶ都市の東京にチェリー・フラワ

縦やが如く、さてはオリムピッ

**羅門音** 

日

酒と

ピールと 元氣百倍

既養親をかねた。大原ワインの快味

側线的下さい。抽籤の上祭品を早上表します枚)で一口とし返頭に住所が、公出前頃を帰国大黒偏栖満一升場語の包紙レッテル一枚(大黒偏栖満一升場語の包紙レッテル一枚(大菱飲家サービス規定

附面武治期割引領する金費の提帯

品(金組分)

阿波共同汽船账出机

報南浦、大連、天津行 地區東國於一即大爾斯斯 地區東國於一即大爾斯斯 東京 即於一即大爾斯斯 東京 中華斯斯

一、抽题方法

、抽種方法(一旦毎に抽象を一枚消量、 貳子ロ・大黒葡萄液株式食肚チービ・大黒葡萄液株式食肚チービ

代理店 野口商會

同一〇時 鲜丽交授政选(磷洲上 憲本行(急行)任日

ラデュドラマ

生命を数つた伊総少年(上) 一年のを数つた伊総少年(上) 皮膚泌尿花柳病

內別無地大臣 林 统十郎

十二百(月)

醫學博士渡邊晋

いしい料理で

御家庭向ビールの様々物

九州郵船出張匠

鰊の白子味煮★

家庭

團欒!

特別 (予人事)鰊の自子 六十年

一般は関家の宗紀なり、青田一同六時二五分(桃)修義護座

明時堂獨特の長期月賦開始神公書 と財料

なる伊勢扇の正體を知り伊勢島を 一灯の重劇に落ちたがお千代の響と の言に從つた松五郎は窓も即用提と彼される小判五兩。その夜得七

鉛をつけて臭れ、これが手附金だ

今夜の四ツに

殺し太吉に心を疑しながら自明し

2勿難ぶ らない 戯に好感 を持つ文音はさつきから、そのさらり

お庭拜見の日(四)

つて概つてゐるのは、行無りなん です、ある事情の……」

娘、祝慕たちが、女同志のその書 にと申しますので、観光職の方のつき党内を派遣して行った技家の さらで、今日お手際ひに上るやら

鑑曲 イ、じやがた

ためだ、金さへあればどんな 入らせようとする。 マみんな金の

だけでの打解け方でしゃべり合つ一連級にまるりましたの、

ざいます、どうぞ宜しく

富永謙太郎

は絢子の顔を眺めながら、さすが のかと、内心臓いて、娘の方を見 娘を、町の椰子連を知らなかった

「どなた?」

と、小聲で訊いた、文吉は此の

『私、母が猪蘭様から承りました

(13)

彼は思はず そん な言葉 を掛け

娘の好奇心はやむ脳を知らない

てみた。

文吉は苦笑しながら、

そこへ現れたのを見ると、絢子が

今、文吉が新らしい客を連れて

大衆の 

等。於字配中連基 見前、應兒馬、基 長崎、應兒馬、基

大型船便多数あり一般の月十五日四月十五日四月十五日 四月十一日 四月十一日 四月十一日 四月十一日 四月十二日 四月十二日 四月十二日 四月十二日 阿維斯登安路

社會式株酒麥鮮朝

東西町 空記

四月十二日十九日日十九日日十九日日

格麼夠能 船駐出帆 大阪商船並出帆 第15日報(記集・基準)

東京代東店 大式會社代東店 川支店回漕部 川支店回漕部

本語 (本語 ) 本語 日 河田 (本語 ) 本語 田 河田 (本語 ) 本語 田 河田 (本語 ) 本語 田 河田 (本語 ) 本語 日 河田 (本語 ) 本語 (本語 ) 和語 (本語 ) 本語 (本語 ) 和語 (本語 ) 和語

世紀 一四月十三日

長崎暉、完島

图明合汽船販出机

正朝鮮郵船艇出机